

国際ロータリー会長
 ジョン ケニー
 地区ガバナー
 植木 康之
 三条北RC会長
 石川 勝行
 幹事
 早川 瀧雄
 SAA
 岡田 健



三条北ロータリークラブ週報

例会日 2009. 11. 10 累計 No.1106 当年 No.17

例会日: 火曜日 12:30 ~ 13:30
 例会場: 三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114
 事務局: 三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内
 TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488
 ホームページ: <http://www.sanjo-nrc.org>
 メールアドレス: north@sanjo-nrc.org

本日の出席: 69名中39名
 先々週の出席率:
 69名中55名 79. 71%
 (前年同61. 76%)

本日の行事:
「ライラ研修報告会」

本日のゲスト: ライラ研修生
 高森コーキ (株)
 金子 瞬様
 高柳和樹様

先週のメイクアップ: (敬称略)
 10月28日巻RCへ 米山忠俊
 29日三条東RCへ
 梨木建夫、笹原壮玄
 安田貞夫、高橋彰雄
 本間建雄美
 10月31日~11月1日
 ライラ研修 (新潟)
 神田敬宏、青柳康博
 11月4日三条RCへ
 山中 正、落合益夫
 安田貞夫、岡田 健
 高橋彰雄
 8日新井RC50周年式典
 中條耕二、石川勝行
 早川瀧雄

本日のビジター:
 巻RC 加藤政夫さん

本日のオブザーバー: 米山奨学生
 ヤーヤ・ムハマド・イズアリ君

本日のメニュー: 1073 kcal
 切り昆布と豚バラの炒め煮 123
 御造里 181
 鱈のみぞれあん掛け 126
 鰯の照り焼き 223
 御飯 168
 味噌汁・漬け物 94
 キャラメルケーキ 158

会長挨拶

石川勝行会長



先日は、新井 RC50 周年ということで、中條パストガバナー、早川幹事と三人で行って来ました。新井 RC も良かったけれど三条北 RC も負けていないことを再発見して来ました。本日のメーキャップ、巻 RC の加藤さん、ライラ研修生の皆さん、いらっしやいませ。どうぞ、ごゆっくりお過ごし下さい。

我々は時代 (歴史) という列車に乗っています。その列車のスピードが早くなってきます。先 (レール) も見えません。11月8日の新聞にはホンダの伊東新社長は「伊東改革」で着々だそうです。変わらない企業が脱落する淘汰の時代。以前の6人の社長はすべてエンジンの技術者出身。伊東新社長はボディの技術者出身。ハイブリット車で巻き返しだそうです。

我々は、列車に乗っていますが、他人が飛びおれられなかつたと軽々しく批判はできないし、結局自分も降りることはできない。だから、運転手 (指導者) が大事。

一昨日の11月9日は東ベルリンの壁が崩れて20年だそうです。あつという間でした。東西冷戦の記念式典があり、当時の指導者ゴルバチョフ元大統領は、当時の東ドイツ幹部に「歴史に背くものは罰せられる」と改革を促した。

先程のホンダの福井前社長が後任伊東を選んだ時点で、すでにチェンジ (変化) を意識していたかもしれないと記載してありました。ところで、前回のハロウイン例会 (週報の写真) は TV でみたオバマ大統領のハロウイン会にも劣りませんでした。岡田親睦委員長、石川一昭委員、横田さんをはじめ、活躍して、たえず三条北 RC はチェンジしています。20 数年続いている我々のクラブは、次々と新会長 (運転手) を得て、さらに前進改善と発展するでしょう。こんな素晴らしいクラブはないでしょう。三条北ロータリークラブに入って

本当に良かったと。



イズアリ君に奨学金をお渡しします

幹事報告

早川瀧雄幹事

- ・東山ガバナーエレクトより 地区委員推薦のお願い
クラブ活性化委員 木宮 隆会員
- ・植木ガバナーより 山口豪雨義捐金の御礼と報告
地区災害特別基金より100万円と地区内RCよりの合計額260万円を
第2710地区・2680地区ガバナー事務所へ送金
- ・地区米山奨学委員長より 米山奨学生学友会総会のご案内
日時 2009年12月5日(土) 12:00～
会場 ホテルオークラ新潟
- ・三条市特別支援教育研究協議会より 「ウィンターフェスティバル」のご案内
日時 12月4日(金) 9:20～11:20
会場 三条市総合福祉センター

第5回理事会

開催日:平成21年11月10日(火) 11:30～12:30

開催場所:三条ロイヤルホテル 出席者数14/14(内委任状3)

出席者:石川(勝) 小林(繁) 早川 山中 斎藤(正) 佐藤(義) 岡田(健) 坂内
山本 石川(友) 丸山(勝) 岡田(大) 大野 西村

協議事項:1. 指名委員会報告 承認

2010-2011年度会長エレクトとして星野義男会員を推薦

2. IM決算報告 承認

3. 地区役員推薦の件 承認

2010-2011年度地区R財団委員長(3年委員) 中條耕二会員

2010-2011年度地クラブ活性化委員 木宮 隆会員

4. 報告事項

佐藤秀一さん11/17例会に於いて入会式

5. 特別例会企画案の件 承認

・ボーリング大会(家族も参加)11月24日(火)

16:00～三条サカイボウル

18:30～例会(懇親会)三条ロイヤルホテル

・クリスマスパーティー(家族同伴)12月22日(火)18:30～

会場 三条ロイヤルホテル

会費 会員無料・家族5000円

・新年会(家族同伴)1月26日(火)18:30～

会場 燕三条ワシントンホテル

会費 後日決定

・2月に「ハワイ島星座鑑賞ツアー」を国際交流事業として実施

委員会報告

親睦活動:11/24(火)ボーリング大会を開催します。ご家族と一緒にご参加下さい。

12/22クリスマスパーティー、1/26新年会共に家族同伴で開催します。後日詳細案内します。又2月に国際交流事業「ハワイ島星座鑑賞ツアー」を企画します。こちらもよろしくお願ひします。

ニコニコBOX:10日現在累計384,000円

加藤 政夫君(巻RC)巻クラブ加藤です。宜しくお願いします。

石川 勝行君 ライラ研修生の皆様いらっしゃいませ。研修は如何でしたでしょうか。

早川 瀧雄君 ライラ研修の皆さんご苦労様でした。神田さん、青柳さんありがとうございました。

神田 敬宏君 研修生の金子君、高柳君研修に引き続き報告会頑張ってください。
 青柳 康博君 高森さんの会社の金子さんと高柳さんとお越し頂きありがとうございます。又高森社長に協力いただきありがとうございます。又高森社長に協力いただきありがとうございました。

岡田 健君 巻クラブの加藤さん、お久しぶりです。ようこそいらっしやいました歓迎致します。我が北クラブの例会を楽しんで下さい！

大橋 政雄君 ライラご苦労様でした。
 星野 義男君 ライラ研修報告会ご苦労様です。
 外山 晴一君 ブルーリボンバッチは欲しくありません。ロータリーに政治を持ち込まないで下さい。ロータリーが分裂します。

笹原 壯玄君 10月は欠席が多く久しぶりです。
 丸山 達夫君 忘れてしまって先週1回フォローできませんでした。エジプトは暑くて寒かったです。

落合 益夫君 BOXに協力
 今井 克義君 〃
 高森 武志君 過日は弊社々員をライラ研修に派遣していただきありがとうございました。直前に新型インフルエンザの感染で担当が交代するというアクシデントがあり神田委員長はじめ関係者の皆さんには大変ご迷惑をお掛けしましたが、両名とも無事研修を終え帰社しました。今後の活躍が楽しみです。ありがとうございました。



* 10月のコメント賞は金子太一郎会員です。

米山奨学BOX

米山 忠俊君 ライラ研修の金子さん、高柳さん報告ご苦労様です。巻RCの加藤様ようこそいらっしやいました。

笹原 壯玄君 久しぶりの例会です。皆様いつ会っても元気そうですね。
 浅間 一洋君 先週、今週と九州へ仕入れに行きます。1日1便が辛いです。
 渋谷 義徳君 山崎委員長と握手しました。委員長に協力します。
 落合 益夫君 米山奨学に協力
 山崎 勲君 〃

本日の行事

「ライラ研修報告会」

10月31日～11月1日 於：学生総合プラザSTEP

新世代奉仕及びライラ委員会

神田 敬宏委員長



去年は私と早川さんと丸山正夫さんのコバックの社員さん2人の4人で参加しましたが、今年は10月31日、11月1日の二日間、第9回ライラ研修に、新潟の学生総合プラザSTEPに私と青柳副委員長と高森さんの会社の金子君、泉田君で参加の予定でしたが、30日に泉田君が今流行

りのインフルエンザと言うことで、急きょピンチヒッターの高柳君と4人で参加してきました。

今回のホストクラブは新潟東ロータリークラブで、登録者数はロータリアンが125人、研修生は101人の計226人で、その内第4分区はロータリアン9人、研修生20人が登録していました。

今年の講師はNPO法人、「人間未来21」の高田出身の竹内譲さんで「人生塾、心の学校」未来はあなたの手のの中に～自分が源泉と言うテーマで内容は知識学習ではなく、体験を通して頭・心・体で学ぶと言う体験学習でした。

前回と今回を比べると前はほとんど知識学習の時間が多く机に向かったのプリント物

や、オリンピックのスピードスケート銅メダリストの堀井学さんの講演などがあり体験学習はAED講習がありました。今回は机がなく椅子だけで筆記用具も使わず、日程表にも何時から何時、心の学校と書いてあるだけで、これから何が始まるのか解らないので不安でした。

研修時間が去年は二日間で10時間ほどでしたが今年は約16時間もあり6時間余りも長く初日は朝、仕事をしてから出かけたので、夜9時までの研修は睡魔との闘いで大変疲れました。

研修中の楽しみは休憩時間のたばこと食事。今年はロータリアンと研修生が別れて別会場で食事をしました。

今回の食事は1日目の昼、夜は弁当で2日目は朝食バイキング、昼は又弁当で去年とほとんど同じ内容の弁当が2回も出てきましたが、ありがたくいただきました。去年は夕食が懇親交流会で、2次会もありましたが、今回はそれもなく、お酒を飲まないで下さいと言うことでしたが、夜9時前に1日目の研修が終わると、STEPの前のセーブオンに、ビール、チューハイ、おつまみを買に行き、青柳副委員長の部屋で南クラブの谷さんと3人で懇親会を開き楽しくお酒を飲みました。

研修内容ですが、長時間で沢山の体験がありすぎて、説明できませんが、まったく知らない人を、無言で自分のパートナーに選び、体験したことを話し合い、分かち合っ、相手の考え方が、良い悪いは別として心のタンスにしまい、自分の心の声を聴き、心のブレーキをゆるめ、自発的な判断、行動をする体験でした。心の学校で体験したことがすぐに役に立つとは思いませんが、いつか心のタンスにしまっている物が役に立つ日が来るのかなと思っています。

最後に2年続けて貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

休みがちで委員長の役目も果たせてなく、会長をはじめ青柳副委員長、会員の皆さんにご迷惑をお掛けし、大変申し訳なく思っています。

ライラ研修が終わって委員長としての役目が一つ終わってホッとしました。

これで私の報告は終わりです。



青柳康博副委員長

私は研修会に初めて参加させていただきました。研修には神田委員長・研修生との4名で参加しました。わたしの勘違いで神田委員長に迷惑を掛けてしまい申しわけありませんでした。

今年の研修テーマは「人生塾・心の学校」未来はあなたの手の中に～自分が源泉～でした。講師はNPO法人の竹内さんで分かり易く説明されました。

心の学校とはどういう事かわからず私自身不安でしたが始めると共に大変勉強になりました。食事も2日間とも大変美味しく頂きました。今回の研修で学んだことをこれからもいかして少しずつでも皆様に伝えていけたらと思います。

私事で最後まで参加できず、ご迷惑をお掛け致しました。



研修生：金子 瞬 様 高森コーキ (株)

今回、私にこのような機会を与えて下さった、ロータリー関係者の皆様、本当にありがとうございます。

研修前に打ち合わせと顔合わせを兼ねた席に参加させていただいたのです

が、最初は内容も知らされず、正直不安でいっぱいでした。打ち合わせが進むにつれ段々と内容がわかってきたので、研修当日は不安と期待の混ざったようなそんな気持ちで会場へ行きました。会場に入り、名札と資料を受け取り、開構式へと進み研修が始まりましたが、研修が始まってしばらくはどのような事をこの場で「学ぶ」のか理解ができませんでした。

研修が始まりすぐに名札の色と番号で8人グループに分けられ、その8人の中で一人二日間研修を共にする「相棒」を作りなさいと言われ、戸惑いました。普段から現場でお客様や下請けの人と話す機会はあるほうだったのでそこまではとりあえず話して仲良くなれば何とかなるだろうと思っていたのですが、その相棒の選び方が8人で丸い円を作り、目を合わせこの人だと思った人の所へ行って握手を求め、求められた人は受けるも断るも自由とのことでした。顔も名前も話したこともない人と急に相棒になれと言われても、「断られたら嫌だな」「自分から行くのはなんだか恥ずかしいな」という思いがして、この人がいいなと思った人は決まっていたのですが、自分は結局一歩も踏み出せず、自分の思いとはちがう握手を求めてきた人と組みました。

相手の人は歳も住まいも大分離れていましたし、業種も全く異なる人でした。正直後悔しました。

「本当はこうしたいのにどうして自分はいつ

も一歩が踏み出せないのだろうか？」講師の竹内氏が話し始め「今隣にいる相棒はあなたの心に決めた人ですか？違う人ならあなたは普段からそういう体験をしていませんか？」と言われ、まるで心の中を全部見られたような気分になりました。よく考えると、日常業務の中でそんな経験が多いように感じました。これはとても衝撃的でした。研修が進むにつれ、1日目の昼食を取る頃に自分が感じたのはこの研修は何かを「学ぶ」のではなく、自分自身がどういう人間か「気づく」ための研修なのだと感じました。今思えば竹内氏は何かを「教える」というよりは、「気づかせる」という場面が多かった気がします。研修で気づけた事は色々ありましたが、印象深い物がいくつかありました。研修の一部で多くの人と約30cmの距離まで顔を近づけてしばらくお互いを見つめるという体験をし、ものすごく緊張してしまって目を逸らしてしまう場面が多く、自分がいかに普段からお客様や家族とまっすぐ向き合って話せていなかったことに気づいた事が印象深かったです。心に残っているもう一つは「赤黒の実習」という研修で、一見只の点取りゲームの様に見えますが、実習をする人の話の聞き方や、心理、相手を思いやる心が浮き彫りになる研修でした。私は普段の人との会話の中でいかに人の話を真剣に聞いていなかったか、いかに相手を思いやる気持ちを持たないで人と接していたかよくわかり、落ち込むと同時にしっかりしなくてはという気持ちにもなることが出来た事にとっても満足しています。その他にも、計画の立て方と達成することの大事さや、自分が相手とどういう関係を望んでいるかを自分で選択する体験など日常では体験することのない経験を多くさせていただきました。今回の研修を終えて竹内氏が最後におっしゃった事は「この研修を終えたから自分は明日からこうしようとか、こうなろうとか考えないで欲しい、頭の片隅に覚えていて自分のちょっとした目標くらいに留めておきましょう」私はこの言葉にも「ハッ」としました。なぜならこの時すでにこうしようと頭で考えていたからです。今回ライラ研修を終えて私が思ったことは、普段の業務や家庭の中にある「みえない自分」を時には客観的に見つめなおしてみたり、気づいてみたりすることが明日からの自分を見つめ

なおすことになるのだと感じました。これはなかなか普段の生活では気づくことができないのではないのでしょうか？最後になりますが、私に新たな自分と出会えるチャンスを与えて下さったロータリー関係者の皆様、共に研修を受講した皆さん、そして私を人選していただいた当社社長、本当にありがとうございます。この経験をこれからの業務や家庭との取り組みに生かし、まい進して参る所存でございます。

研修生：高柳和樹様 高森コーキ（株）



今回、貴重なお時間をいただきライラ研修に参加させてもらい本当にありがとうございました。当初、私は参加する予定ではなかったのですが、参加する予定の同僚が体調を崩し急きょ参加する事になりました。私が研

修に参加をすると聞いたのが研修直前で当日は不安な気持ちでいっぱいでしたが、2日間の研修が終わった時には今回の研修に参加できて大変良い経験が出来たと思いました。研修の1日目の内容はまず1つ目に心のたんすと言う物をやりました。この心のたんすで私は自分では気付いていなかった事を気づく事が出来ました。2つ目に初対面の人と2人1組のペアを作ってその人と食事やオリエンテーションを共に過ごしました。私はどちらかと言うと人見知りをする方なので本当に仲良く出来るか不安でしたが思っていたよりも簡単に仲良くなる事が出来て、とてもよかったです。仕事でも打ち合わせなどで初対面の方と話す事が多々あるので、今後そう言う場面でこの経験を活かして良い関係で仕事出来るようにして行きたいと思います。そして3つ目に相手と向かい合いお互いの事を感じ取るという事をやりました。これは、無言で相手と向かい合いながら今、相手が何を感じて何を思っているのかを考えるとと言う物でした。それを考える事によって相手と話さなくても、相手の立場に立って物事考えて相手の事を思いやるという事を学びました。4つ目には理想的なコミュニケーションの図り方を学びました。例えば、ただ一方的に自分の言いたい事を言っても相手にその気が無ければ伝わらないので、自分だけではなく相手も納得出来るように話をして行けるように心がけたいと思います。5つ目に「赤黒の実習」と言うゲームをしました。このゲームでは相手に勝つことではなく、お互いがいい点数

を取れるように協力してくださいと講師の方に言われたのですが、ゲームが始まったらその事を忘れ、勝つと言う事に夢中になってしまいました。ゲームが終わって講師の方に「勝ち負けは関係ないと言う事を忘れ、ただ相手に勝とうと言う事で頭がいっぱいになり、相手のことを思いやる気持ちも忘れてしまいましたね。」と言われハッとしました。こう言う場面は普段生活をしていても何気によくある事だなと気づきました。人の話をよく聞かずに知らず知らずの内に相手を傷つけてしまった事があったのではないかと思い、気をつけようと思いました。

2日目の研修では1つ目にお互い向き合って、その相手とどこまでコミュニケーションを図れるかと言うゲームをしました。これは、第一印象で相手の事をどこまで理解できるかと言

うゲームでした。このゲームやった時は理解できませんでしたが、この2日間の研修が終わって1つ1つやってきた事が同じ意味を持っていると思いました。それは相手を思いやるという事なのではないかなと自分なりに感じました。今まで生きてきて挫折する事もありましたが、家族や仲間が居てくれたからここまで来ることが出来たと思いました。それはこれからも同じだと思うし、今回の研修に参加して今まで以上に強く感じました。この研修で改めて気づかされた相手を思いやるという気持ちを大切にして、会社や社会に貢献して行きたいと思います。

最後に、今回このようなすばらしい機会を与えてくださったロータリークラブの皆様にご報告とさせていただきます。ありがとうございました。

会員の声

もう少し生きたい

北海道は小樽の罨（ひぐま）と結婚した三女は、四年前の11月に三条の病院で長女を出産した。当時、父親は海外勤務でタイのバンコックで働いていた。翌年の8月に乳飲み児の飛行機搭乗への許可も得て、父親の迎えでバンコックの生活に戻って行った。二年前の7月に現地で次女が生まれた。去年の8月かみさんと二人目の孫娘との初対面をかねて、四泊五日の予定でバンコックに足を運んだ。タイは仏教の国だけに僧侶に対する尊敬の念は深く、あわせて子どもは仏からの授かりものとの教えからか、現地のガイドによる寺院散策、民族舞踏、象の曲芸などの見学に訪れた処どころで出会う人達は、孫娘によく声をかけてくれた。子どもに対してやさしい国柄に安堵を覚えた。物価の安さには驚きを感じた。日本円にして千円あれば、一日過ごせるという市民の生活のなかで、通う幼稚園の月謝が3万6千円とは、日本人の子弟だけによる経営の由なのだろうか。滞在はアッという間に過ぎ、帰国の途に就いた。

今年のタイからの年賀状に予定より早く7月には日本勤務になるかも、という添え書きがあった。間もなくかみさんの携帯に予定通り、しかも居住は静岡の御殿場に決定したという連絡が入った。7月下旬家族四人は日本に到着し、父親は本社のある沼津に赴き、娘と二人の孫は「じじ、ばば」の待つ三條に到着し、盆前まで過ごした後、新しい生活が待つ御殿場に向かった。

9月に孫娘が入園した幼稚園では敬老の日に祖父母の参観日があるから来ないかとの誘いの電話があり、かみさんだけが参加した。かみさんの手を握り園内を案内してくれた孫娘は「ばあちゃんは迷子になると大変だ」と最後まで手を離さなかったことに、ちよっぴり嬉し恥ずかしい思いとともに、その日の夕食時に「じいちゃんに会いたくて涙が出るの」の言葉には、4歳と年齢を考えた時に夕状し難い感慨を覚えた。帰宅後、話してくれた。

私は75歳。あまり長生きして世間に迷惑をかけないようにと思いつつも、もっと孫たちの成長を見届けたいという矛盾した気持ちを断ち切ることが出来ないのである。

斎藤 正